

指定管理者 期末セルフモニタリング チェックリスト(令和3年度)

総合評価	A
------	---

実施日 令和 4年 6月 22日
指定管理者名 美濃加茂市社会福祉協議会

施設名	総合福祉会館(すこやかタウン美濃加茂)	指定期間	R3. 4. 1~R8. 3. 31
-----	---------------------	------	--------------------

① 実施事業に関すること	総括	A	自己評価	評価理由等
1 施設の設置目的に沿った事業を実施したか。目標を達成したか			A	コロナ禍で利用者は少なかったが、常時感染症対策を行い、管理運営事業を実施した。
2 収支計画との整合性はあったか			A	指定管理業務に沿って、計画的に実施した。
3 開館時間、休館日を適正に守っていたか			A	コロナ禍において、市の指示に基づき開館時間の変更、及び、休館日を適正に守った。
4 資格者の人員配置など職員体制を適正に整えていたか			A	看護師、防火管理者等を配置して、適正に体制を整えた。
5 公共性・公平性が保たれていたか			A	公共性・公平性を保つよう、利用料免除・減免について、適正な基準により決定した。
6 改善指示事項や要望を事業に反映していたか			A	苦情・要望受付簿及び原因究明資料、改善報告書を作成し、事業に反映した。
7 自主事業を適正に実施していたか			A	喫茶店(売店)を直営で行い、また、自販機の設置を行い、来館者の便宜を図った。

② 経理に関すること	総括	A	自己評価	評価理由等
1 指定管理業務に係る固有の銀行口座を適正に管理していたか			A	固有の口座を作り、毎月、残高を帳簿とチェックをした。
2 協定に基づいて適正に支出したか			A	人件費、事業費、事務費等複数人で確認し、適正に支出した。
3 支出に関する帳簿を適正に記載・管理していたか			A	社協の経理規程に基づき適正に記載・管理をした。なお、税理士を入れて管理した。
4 帳簿を適正に記載・管理する体制を整えていたか			A	社協の事務決裁規程に基づき、担当者、係、係長、局長等でのチェック体制を整え行なった。
5 現金を適正に管理していたか			A	毎日、金種別に事務所の金庫で管理し、数人で確認して管理を行なった。

③ 施設管理に関すること	総括	A	自己評価	評価理由等
1 保守点検・検査・修繕を適正に実施したか			A	日常的に管理手順書に基づき確認している。なお、異常に気づいた場合は、修繕等即対応した。
2 清掃を確実に実施していたか			A	コロナ禍、消毒作業等について、シルバー人材センターと定期的に打合せを行ない実施した。
3 マスターキー等の管理体制を整えていたか			A	工芸棟の鍵は貸出名簿で管理し、その日に回収。マスターキーは、キーBOXに入れて保管した。
4 緊急時の連絡体制を整えていたか			A	緊急時に社協職員全員で対応できる体制を整えた。職員全員での消防訓練も行なった。
5 避難経路の安全性を確保していたか			A	非常口、階段等の安全確認を、消防計画に基づき、各部署ごとに行なった。
6 備品を適切に管理していたか			A	備品の廃棄、新規取得の届出はその都度行なった。また、市へ全体をまとめた確認書を出した。
7 駐車場の保全・管理、施設の警備等を適切に行っていたか			A	毎日見回りをした。施設については、休館日と夜間の警備を警備会社に委託して行なった。

④ サービスに関すること		総括	A	自己評価	評価理由等
1	利用時間の延長など具体的にサービス向上や稼働率等の向上に取り組んだか			A	毎週金曜日の夜間は、一部部屋を貸出している。平日の時間延長は、受入体制をとって対応した。
2	苦情等の処理を適正かつ迅速に行ったか			A	苦情等の情報を職員が共有化して、迅速に対応した。
3	苦情等の処理に関する書類を適正に整備・管理していたか			A	苦情・要望受付簿及び原因究明資料、改善報告書で管理した。
4	ホームページ等でのPRを適正に行ったか			A	市の広報に載せ、社協のホームページで情報の更新等を適宜行なった。
5	セルフモニタリングを適正に行ったか			A	8月にアンケートを行い、要望等結果を公表した。また、年間を通じてアンケートBOXを設置した。
6	利用者アンケートの結果をサービスの向上にいかしたか			A	できることはその都度活かしており、できないことはその理由を丁寧に説明して理解を得た。
7	サービス向上のために職員研修等を実施したか。接客態度に問題はなかったか			A	定期的に研修会を開催。徹底事項があれば、その都度全職員に伝えた。接客の満足度は高かった。
8	経費縮減・費用対効果の向上(費用の最小化)を図る取組みを実施したか			A	照明の点灯基準を周知した。ストーブ・扇風機での空調電気料の削減を図った、随意契約の見直しに努めた。

⑤ その他		総括	A	自己評価	評価理由等
1	施設の管理に係る情報の管理や情報公開を適正に行ったか			A	施設内では張り紙で、社協のホームページでは、事前に情報を公開するなどして適正に行なった。
2	個人情報データを適正に利用・管理していたか			A	入館受付時に手書きをしていたものを、カードチェック式に変えて、個人情報を管理した。
3	環境に配慮した事業を推進したか			A	クールビズ・ウォームシェアスポットの取り組みを行なった。
4	業務実施に必要な保険に加入していたか			A	1件最大5億円の賠償責任保険に加入した。
5	利用者及び職員の安全管理に関する体制・仕組みを適切に整えていたか			A	来館者用にヘルメットとスリッパ、避難はしごを配備。職員にヘルメットを支給した。職員の緊急連絡網を整えた。
6	労働法令を遵守し、雇用・労働条件への適切な配慮をしていたか			A	社協の就業規則により、職場の安全及び衛生の確保に努めた。
7	地域との連携・協働を図ったか。まちづくりに配慮した事業を推進したか			A	ディサービスセンターと連携。選挙・災害時の避難所への協力を行なった。
8	市と連絡を密にしていたか			A	毎月、福祉連携会議を行い、日常的には随時業務報告を行なった。

●評価の判定基準

① 自己評価	A(優良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準に達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である
② 総括	A(優良)= 自己評価がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 自己評価がすべてC以上であり、かつABが半数以上である C(課題有)= 自己評価がすべてC以上であり、かつABが半数未満である D(要改善)= 自己評価にDが含まれている
③ 総合評価	A(優良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数未満である C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている